

奥会津
妖精美術館
2019

日本アニメの巨匠 妖精館 × 湖川感

宇宙からの妖精 湖川友謙展

こがわ ともり Tomonori Kogawa

4/27<土> ▶ 11/10<日>

『イデオン』『ダンバイン』『ヤマト』

アニメ50年の画業を辿りながら、最新作の妖精画を初公開します

オープニング記念

4/27(土)~30(火) 各日先着10名様 伝説巨神イデオン プラモデルプレゼント

5/1(水)15:30~5/2(木)11:00~ ガラリートークと西塔紅美音楽会

対談 赤松和光(造形作家)&阿部正大(芸術学博士) 参加者にはイデオンプラモデルプレゼント

<企画協力>

(株)タイムマシン・ビジョナリー (株)マーミット フェアリー協会

トークショー開催 ※東京からバスツアー開催予定

9/21(土)「宇宙からの妖精」
湖川友謙 & 井村君江(館長)



【プロフィール】

湖川 友謙(こがわともり) 1950年生まれ、北海道出身。

『巨人の星』(68年)の動画からアニメーションの仕事を始め、『科学忍者隊ガッチャマン』(72年)、『破裏拳ポリマー』(74年)などタツノコプロ作品の原画を手掛ける。

キャラクターデザイン、総作画監督を務めた劇場用アニメ『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』(78年)は、映画史に残る大ヒットを記録した。

70年代後半からは富野由悠季監督とコンビを組み『無敵鋼人ダイターン3』(78年)から『重戦機エルガイム』(84年)まで、サンライズ制作のロボットアニメで活躍。『新世紀エヴァンゲリオン』(95年)での花畑まゆ名義の作画監督を務め、複数のペンネームで多くのアニメに関わっている。

また、86年に発表した作画技術書『アニメーション作画法』『アニメーション作画法・実技編』は、後続のクリエイターに影響を与えた。

00年以降は『さよなら絶望先生』(07年)、『俗・さよなら絶望先生』(08年)、『宇宙戦艦ヤマト 復活篇』(09年)、『ふるさと再生 日本の昔ばなし』(12年)、『宇宙戦艦ヤマト 2199』(12年)、『ルパン三世』(15年)、『6HP シックスハートプリンセス』(17年)などの作品で活躍を続けている。

最近では役者として舞台上に立ったり、継続して田んぼアートを制作するなど、その活動を広げている。



妖精美術館 〒968-0002
福島県大沼郡金山町大字大栗山字狐穴2765
TEL.0241-55-3180

開館期間/4月27日~11月10日(開館9:00~閉館17:00)

休館日/水曜日(水曜日が祝日の場合は、その翌日)

入館料/大人(高校生以上)300円、小中学生 200円
団体(高校生以上)270円、小中学生 180円

福島県奥会津の山深い中にある沼沢湖。

森に囲まれた湖・沼沢湖のほとりに、世界中の妖精が集まっています。その湖畔に1993年にオープンした美術館には、日本の妖精研究の第一人者、井村君江さんのコレクションを中心に、妖精を描いた絵画・絵本・文学の資料・人形・妖精をとり入れた小道具などがたくさん展示されています。また、妖精美術館のステンドグラスは世界で活躍の場を広げる天野喜孝さんが手掛けています。93年の当館オープニングに和泉流の狂言「夏の夜の夢」が上演されたのを初めとして、妖精にちなんだ様々なイベントも行われています。

道の駅奥会津かねやま

